

# 特別養護老人ホームに住まう

平成23年6月2日  
練馬区社会福祉事業団  
富士見台特別養護老人ホーム  
施設長 海老根典子

## 施設概要

- 練馬区社会福祉事業団(平成4年設立)の2箇所目の特養として平成6年開設
- 特養:50人 ショートステイ:6人
- 従来型多床室(1人:4室 2人:6室 4人:10室)
- 入居者平均介護度:4.02
- 職員数 :介護職員28人(25.4)看護職員6人(5.5)  
施設長、相談員、事務職員他8人(6.8)  
(常勤換算)
- 併設事業:在宅支援センター、居宅介護支援事業  
デイサービスセンター

23年4月1日現在

## 今、求められていること

### 介護老人福祉施設における基準の観点から

H.11年(1999年)3月

感染症管理体制の強化  
介護事故に対する安全管理体制の確保  
褥そう予防の体制整備  
身体拘束禁止

H.12年(2000年)介護保険制度施行

自立支援

H.15年(2003年)介護保険改定

尊厳の尊重

H.17年(2005年)11月高齢者虐待防止・養護者支援法

高齢者の速やかな安全確保

H.18年(2006年)介護保険改定

重度化対応・看取り介護加算等の創設

## 今、求められていること

H.21年(2009年)介護保険改定

改定の基本的視点

- 介護報酬の基本単位の改定
- 業務負担の評価
- 専門性等のキャリア評価  
(サービス提供体制強化加算)



介護報酬改定

人材確保・処遇改善  
高齢者の人権を尊重した  
介護サービスへの期待



## 富士見台特養で、今できること

- ハードでの個別化を超える、  
ソフトでの個別化
- お客様の一人ひとりを尊重したサービスを展開する
- 従来型多床室からユニット化・グループ化はできないが工夫はできる

## 富士見台特別養護老人ホームでの 尊厳あるケア推進への取り組み

### 尊厳を尊重した排泄ケアから広がる生活支援

- 排泄ケアは、人間としての誇りを傷つけないよう最大限に配慮すべきケアである！！
- 排泄を要因とする生活行動障害を防止する
- 排泄に係る障害の原因を追及、原因への対応をする
- 食事、睡眠、生活リズム、適度な運動、排泄環境の見直し

## 尊厳あるケア推進への取り組み

### 身体拘束ゼロ

当然の状況を維持するために

#### ■ 生活環境の整備

低床・超低床ベッド、センサーコール  
衝撃吸収マット、衝撃吸収カーペット等の整備  
車いす(移動手段・生活手段)の選定

#### ■ 日常生活の整備

睡眠障害への対応  
排泄に係る問題への対応  
皮膚トラブルへの対応

## 尊厳あるケア推進への取り組み

### リスクマネジメント

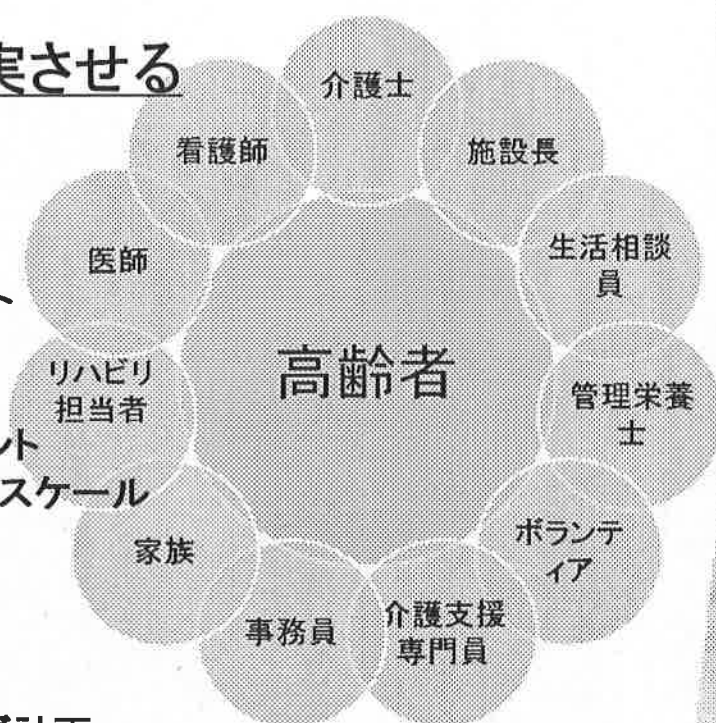
リスクマネジメントすることはサービスの質を向上させること

- ・ヒヤリハット・事故報告と事故レベルの判断、評価
- ・苦情報告
- ・施設巡回
- ・虐待等の意識調査
- ・リスクマネジメント・セミナー
- ・事故事例検討会

## 尊厳あるケア推進への取り組み

### ケアプランを充実させる

- センター方式
- 転倒転落アセスメント
- 食事能力評価表
- 嚥下能力評価表
- 褥そう予防アセスメント
- 富士見台ブレデンスケール
- 褥そう予防計画書
- 排尿チェック
- 排尿チャート
- 排便サポート計画
- トイレトレーニング計画



## 尊厳あるケア推進への取り組み

### 施設環境づくり

PEAP: 認知症高齢者の自立やライフスタイルの継続などのニーズに焦点を当て、それにふさわしい環境を、施設の物理的環境など幅広い要素を考慮して実践するための指針

誰にとっても安心して過ごせる  
居場所づくり

## 環境づくりの過程

- 1、環境づくりの理解を深める
- 2、課題の抽出
- 3、改善計画の立案
- 4、環境づくりの実施
- 5、結果
- 6、見直し

## 課題の抽出と計画の立案

- ・日頃職員が気になっていた環境
- ・お客様が生活する場として不自然だと感じる環境
- ・生活の場ではありえない風景などを写真に表し、  
明確化する

目標！！

**「2階フロアのお客様にとってお気に入りの過ごし方が出来る環境にします」**

## 施設環境づくりの実践

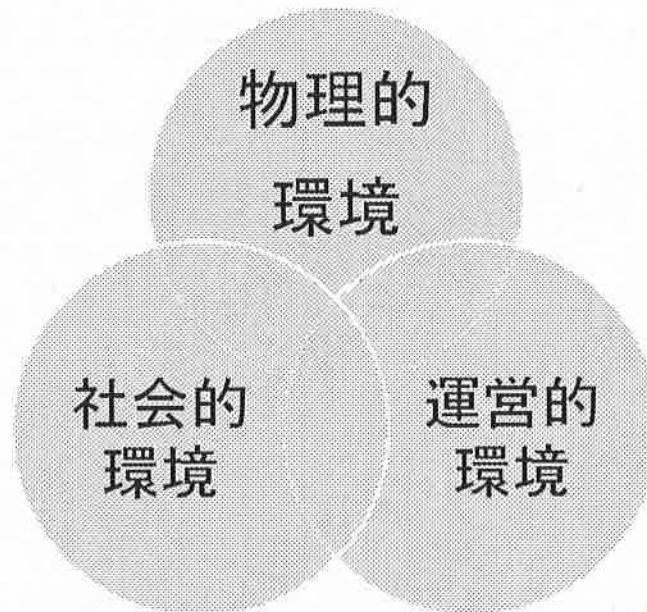
- ・日程表
- ・食堂スペースの活用
  - ・整容ラックの設置
- ・廊下収納スペースに目隠し
  - ・個人に合った食事席
- ・奥廊下の非常口鍵交換
  - ・掲示物の整理
  - ・木製ベンチの活用
  - ・食堂キッチンの整理
  - ・口腔ケア用品の整理

## 改善のアイデア

- ・掲示物を内容別に分類し、掲示場所と方法を見直す。
- ・カレンダーの横に日程表を設置し、一週間と当日のスケジュールを記入できるようにする。
- ・食堂周辺はお客様の目に付きやすいため、見て欲しい情報を優先して掲示する。
- ・車椅子の目線からも見えやすい位置に設置する。

## 環境づくりの効果を確かめる

3つの環境改善項目から考える



## 尊厳あるケア推進への取り組み

### ■ 伝達研修

- 方法: 月2回、各1つのテーマ・内容を1週間毎日繰り返し研修。初日の講師は発案者、2日目からは順次交替。非常勤を含めた全介護士が参加。夜勤者への申し送りの後の20分程度。
- 職員の情報の共有化
- 業務の標準化
- 伝達能力を含めた職員のスキルアップ